

高齢者施設の服薬介助の実態に関する研究のお知らせ

帝京大学薬学部と株式会社わかばの共同研究で以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年9月4日～2022年3月31日

〔研究課題〕

高齢者施設における服薬介助の実態調査

〔研究目的〕

近年我が国は超高齢化社会を迎えており、今後、高齢者施設に入居される方が増加すると予想されています。高齢者施設に従事される方が増えてはいるものの、増加する入居者に追いつかず、高齢者施設の現場では少ない人数で業務を行わなければならない状況にあります。全国的に、ご高齢の方は持病により多くの薬を服用される方が多く、安心して安全な服薬介護を行うにはどの程度のスタッフが必要か明らかにされていません。

そこで、今回、服薬タイミング毎の薬の数および服薬介助に関わるケアスタッフ数を調査し、安心して安全な服薬介護について研究することを計画しました。

〔研究意義〕

本研究で調査する、服薬タイミング毎の薬の数と服薬介助に関わるケアスタッフ数から、どの時間帯がスタッフの方の業務負荷が大きいかが明らかになります。業務負荷が大きい場合は、スタッフの数を多くする、医師や薬剤師などが協力し、その時間帯の薬の数を少なくするなどの、ケアスタッフの業務負荷を小さくする対策を検討することができ、安心して安全な服薬介護のための計画立案に役立つことができます。

〔対象・研究方法〕

対象：施設に入居されており薬を服用されている方と勤務されているスタッフの方

方法：株式会社わかばの薬局の記録から、2018年10月に服用されていた入居者様毎の薬の量、また施設の勤務表から10月に勤務されていたケアスタッフ数を集計します。なお、集計する時に、氏名などの個人情報は一切収集致しません。この集計した薬の量とケアスタッフ数を帝京大学薬学部臨床薬学講座製剤学研究室で解析を行います。

〔研究機関名〕

- ・帝京大学 薬学部 臨床薬学講座 製剤学研究室
- ・株式会社わかば

〔個人情報の取り扱い〕

本研究に携わる者は、個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守します。本研究ではデータを集計する際、個人情報を除き、新たに通し番号を振付した状態でデータを取り扱います。なお、研究で得られたデータは、学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報が公表されることはありません。また、本研究で得られたデータは、終了報告後5年間もしくは最終の研究成果公表の3年間のいずれか遅い日までを保管期間としています。保管期間終了後は、紙媒体は溶解あるいは細断処理し、電子媒体については再生不可能な状態にして廃棄致します。

〔その他〕

本研究は、帝京大学倫理審査委員会の審査を受け、承認を得て行っているものです。2018年10月にお薬を服薬されていた入居者の方もしくは勤務されていた方ならびに代諾の方で、不参加を希望される場合には、お手数ですが**2019年10月31日**までに下記問い合わせ先までお知らせください。その場合、あなたのデータは使いませんし、これからの入居生活・勤務に差し支えることは全くありません。また、ご自分がこの研究の対象になっているかお知りになりたい方についても、お調べしお答えいたします。

対象となる方で、ご自身の薬の情報を研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 黄倉 崇 (帝京大学薬学部教授)

所属: 帝京大学薬学部臨床薬学講座製剤学研究室

住所: 東京都板橋区加賀2丁目11-1 TEL: 03-3964-8306

E-mail: okura@pharm.teikyo-u.ac.jp

研究分担者: 原 和夫

所属: 株式会社わかば

住所: 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-12-10 TEL: 045-475-3251

E-mail: hara@wakaba-pha.co.jp